

いよいよ探究基礎の総まとめ！「成果発表会」まであと1ヶ月！

さて早いもので2学期もう終わり、1年の締めくくりが近づいています。そして年明けの3学期、1月31日（金）にはいよいよ1年生の皆にとっての探究基礎の総まとめ「成果発表会」が予定されています。この冬休みはそこへ向けて最後にまとまった時間が使える貴重な期間です。

そこで今号では、10月4日（金）に専門家の方々をお迎えして指導・助言を頂いた中間発表会の際に、生徒の皆が感じていたことを、ポートフォリオからいくつか抜粋し改めて掲載します。注意すべきポイントをおさらいし、課題意識を明確にして発表へ向かいましょう！

中間発表会後の生徒の感想

M1（貧困・飢餓・安全）より

我々の班では、今まで「水のろ過」について、活性炭の代わりになるものだけを考えていたのだが、中間発表会を経て、それ以外の葉や石や砂も、種類や大きさを変えて実験してみようと考えられるようになった。また実験背景として、「どうしたら水が行き渡る社会の制度ができるのか」、「そもそもどれくらい水は足りていないのか」なども、成果発表会までに並行して調査し、準備しておく必要がある。

M5（エネルギー・環境）より

「食品ロスの問題とは何か」を、決めつけては、改めて考える必要がある。「『もったいない』が使われなくなったのはなぜか」など「30年間の歴史的背景」をきちんと整理し研究に向かいたいと思う。現時点では具体性に乏しいと感じるので、経済学の観点からもテーマを再考し、焦点を絞って研究していこうと思う。

M6（真の経済成長と労働）より

アンケートの内容や方法をよく考え「前橋の活性化」につながる研究になるよう頑張りたい。「前橋ならではの利点とは何か」、「商店街の活性化にはいかにしたらつながっていくのか」、「そもそも活性化とはどういうことなのか」、前提となるものをきちんと考え、焦点を定めた研究にしていきたい。「自動車を利用した観光ルート」や、「県外だけでなく県内の人にも訪れやすい観光スポット」、「他の地域がどのようにして観光産業を盛り上げているか」など、しっかりと調べて知識を蓄え、有意義な発表を目指したい。

M7（住環境や生活）より

ゴキブリの実験は足が速くて難しいが、面白いかもしれないと言われた。入手方法や飼育方法などしっかりと準備して、研究に向かいたい。『ゴキブリ3億年のひみつ』という本を薦めてもらったので、しっかり読み込んで知識も蓄えておきたい。自分達のあさはかな部分を改めて感じたので、直すべき所は直し、成果発表会まで計画立てて取り組んでいきたい。他の班の発表を聴いて焦燥感も意欲も一層湧いたので、頑張りたいと思う。

M9（生態系と地球）より

実験の方法や目的、仮説に至った理由などについて指導を頂き、自分達の用意が甘かったと強く感じた。光合成効率や二酸化炭素、地球温暖化などについて改めてしっかり調べ、研究内容とテーマのつながりを明確に意識して取り組もうと思う。実際に研究、レポート作成、発表する時を意識して、成果発表会へと備えていきたい。



★さて、これら中間発表会時の皆の反省や課題は解消されたのでしょうか。課題解決に近付くためどんな研究をしてきましたか。
★成果発表会まで残すところ約一か月。良い締めくくりになるよう最後まで頑張りましょう！